

第15回富山地区学校再編検討委員会 会議録

日時 平成23年1月27日(木) 午後7時
会場 富山公民館 講義室
記録 黒川 川名
出席委員 17名
欠席 前田委員、戸倉委員
傍聴 5名

1、開会

2、検討委員長挨拶

3、教育長挨拶

説明会は長時間にわたり、ありがとうございました。これから具体的に考えていく上で責任の重さをいっそう感じております。今日、この後、小学校だけでなく具体的に小・中学校を含めて、どうしていったらよいか議題にしていかなければならないと思っております。皆さんから、お力、あるいは協議いただきながら検討を進めてまいりたいと思います。

4、報告

事務局 第14回の報告について説明。

○富山地区小学校の建設地を検討したとき、場所として富山中学校敷地が望ましいと考えている。

○平成24年4月1日に岩井小学校施設を使用し富山小学校としてスタートする。

○岩井小学校の施設の改修、スクールバス運行について検討を進めている。

○地区説明会について

委員 意見なし

事務局 議長委任「傍聴人の入場よろしいでしょうか。」

委員長 許可します。

5、議事

委員長 それでは第1号議案「地区説明会について」、事務局お願いします。

事務局 1月20日(木)に行われた地区説明会については、概ねご理解を得たように思います。(説明会資料2頁参照) 参加しました検討委員の皆様は、18名、教育長以下事務局8名、71名の一般参加者でした。

内容については、当日出た意見を箇条書きし、3頁から6頁に掲載してありますのでご確認ください。

委員長 ご意見ありますか。

委員 特になし。

委員長 それでは、おおかたの合意があったものとみなします。

事務局 資料7頁から8頁の施設建設に関わる質疑応答内容をご確認いただきたい。場所については、おおかたのご理解が得られたと考えている。

委員 建設場所については、地域理解が得られているのか。

事務局 概ねの理解が得られたと考えている。

教育長 これまでの説明会等で了承されたと理解しています。

委員長 次に、第2号議案「意見具申(案)の検討について」を議題とします。

事務局 資料9頁の学校再編に係る意見具申につきましては、前会議で地域の皆様のご理解が得られたということでまとめさせていただきました。内容については、10頁、11頁をご覧ください。ご理解いただいた協議結果及び要望事項を12項目にわたり、まとめさせていただきました。

1、再編時期に関する事項

再編の時期は、平成24年4月1日とする。

2、幼稚園及び小学校の位置に関する事項

園舎及び校舎は、岩井幼稚園園舎及び岩井小学校校舎を使用する。

3、幼稚園及び小学校の名称に関する事項

園名は、富山幼稚園、校名は、富山小学校とする。

4、児童の登校及び下校に関する事項

スクールバス運行等による支援を図る。幼稚園児の通園支援についても引き続きスクールバス運行を図るものとする。

5、校歌及び校章に関する事項（新たな名称になるため）

新たに作成することとする。

6、児童の学用品に関する事項（保護者負担が少なくなるようにしたい。）

7、小学校の行事・授業等に関する事項

8、PTA組織、活動等に関する事項（課題調整を図っていく）

9、園舎及び校舎の環境整備に関する事項（課題調整を図っていく）

10、閉園・閉校に伴う記録保存に関する事項

11、学校跡地の活用に関する事項（有効利用をはかる）

12、周知に関する事項（地域住民に周知を図る）

委員長 ただいまの件についてご意見ありますか。

委員 意見具申の文言だけだと、今後は岩井小が富山小としてスタートするだけの

ように考えられてしまい、校舎建設のことがわからない。地域に理解してもら
える内容にして、会議に参加していない人が誤解しないような文にしてほしい。

事務局 この意見・具申書につきましては、委員の皆様、地域の皆様にわかりやす
い言葉で表していきたい。

教育長 検討委員会としては、再編と建設は別ということによろしいでしょうか。

委員 スタート時から、学校再編と学校建設は別に考えてきている。

教育長 新校舎は、富山中の施設内に建設していきたい。この建設の内容については、
私どもの責任で説明していくものと考えている。再編検討委員会は、学校再編
に関しての協議をされているので、建設に関わるような形に文章を変更しない
ように考えたい。この具申案のままではどうでしょうか。建設については、別
のもので周知を図っていく。例えば、岩井小・平群小のPTAの集まりに行っ
て説明するとか、文章をだすとか対応していきたいと思います。

ワザンバー できれば、慎重にしていくほうがよい。文言は必要かもしれないが、誤解の
ないようにしていただきたい。また、今後、他の地域でも統合が進んでいく中
で、それぞれの進め方がまちまちにならないように考えてほしい。

委員長 意見具申につきましては、この文面のままということではいかがでしょうか。

委員 10頁文中「彼等」を「子ども達」にしたほうがよいのではないかと。

事務局 修正しまして「子ども達」にさせていただきます。

教育長 同じ言葉がくりかえされることであるならば、「富山地区の教育環境の向上が
図られ、次代を担う子ども達の間人形成に資するものでなければならない。」で
は、いかがでしょうか。

事務局 「富山地区の教育環境の向上が図られ、次代を担う子ども達の間人形成に資
するものでなければならない。」といたします。

委員長 ほかにあるか。

委員 特になし。

委員長 それでは、第3号議案「地区周知(案)について」を議題とします。

事務局 12頁をごらんください。これまで、地域の方々にご理解いただけるよう会
議を重ねてまいりました。

平成20年11月に富山地区学校再編検討委員会が設置され、検討・協議が
始まり、平成22年12月まで14回の会議を重ねました。平成21年10月
に検討委員会としての方針案を策定し、地域の方々のご理解をいただくため、
平群地区・岩井地区、そして地域全体への説明会を開催しました。しかし、十
分なご理解を得るまでには至らず、方針案を再度検討し一部修正した上で、平
成23年1月20日に地区説明会を開催しました。1月20日には、ご理解が
得られたと考えています。理解が得られた内容が資料12頁の2から5までに

表しています。つきましては、地域の方々にもご理解を図っていききたい。具体的には、各グループでつめていくということではいかがでしょうか。

委員長 これらについて、ご意見はいかがでしょう

事務局 13頁の枠で囲ったところは、市の考え方ということで記載させていただきます。(追加)

事務局 13頁5(4)の下に別枠をつけて

南房総市の新校舎建設の考え方

・学校建設については、南房総市教育委員会で検討しています。

とします。

委員長 別枠で付け加えるということですが、いかがでしょうか。

委員 異議なし。

委員長 次に、第4号議案「今後の学校再編検討委員会の進め方について」事務局からお願いします。

事務局 14頁については、地域の方々に統合に向けた協議・検討を中心に「検討委員会・専門部会」「富山地区小中のあり方」「中学校の保護者の検討委員会への参加」を周知し、その後、検討委員会及び専門部会で協議していくこととします。

委員長 検討委員会の進め方について説明がありましたが、何かありますか。

委員 現在のメンバーは、どうなるのか。

事務局 平成24年4月の統合期日までは、この検討委員会は存続し、協議していただくことになろうかと思えます。

教育長 組織としては、これまでの検討委員会で話し合ったことを土台として考えていきたい。中学校の保護者も含めて、交替する方もいるかもしれないが、この検討委員会で協議し方向性を出していただきたい。おそらく5月～6月頃までには、ここに校舎を建てるということを前提にお話できるものと思えます。詳細については、市で決定し検討していきます。

委員 中学校のあり方は、どの程度まで考えをすすめていくのか

事務局 新校舎が富山中の敷地内となるため、中学校も関わってくる。小中学校の関連も考えていく必要がでてくる。

教育長 富山地区は、中学校に新築となるため、この3年間の協議をふまえた検討委員会を柱としながら、小学校と中学校を含めた学校のあり方について協議していただきたい。

委員 今後、中学校も含めさらに幅広い検討会となるのか。

教育長 平成23年度からは、他地区においても様々な方向性を視野にいれた検討をするため、中学校PTAの方も入っていただいた議論を考えている。

委員長 富山地区ではスクールバスの関連からも小中で考えていく必要がある。

委員 小学校の段階でこれだけ時間かかっているのだから、中学をどうするのか大事な問題である。少しでも早く、中学校に関する検討を進めていく必要がある。検討委員会メンバー構成については、もう少し考えていく必要があると考える。

ワザンバー 富山地区においては、富山中の敷地内に新たな施設ができることは良いことである。できれば中学を残したい。希望ではあるが、もし富浦も三芳も呼び込むだけの整備をしてくれるのであれば、さらに意義深い。施設整備や地区の教育環境を整備するために、この検討委員会は引き続き残りがんばっていただきたい。

委員長 他にありますか。

委員 特になし。

委員長 次に、第5号議案「第16回検討委員会の日程について」をお願いします。

事務局 1頁にお戻りください。専門部会として具体的に進んでいるのは、通学支援部会である。他の専門部会のご意見がまとまったら聞くということで、年度が改まってからの日程としたい。他の部会の進捗状況を考えて検討委員会を開催したい。

委員 メンバーが替わった場合、部会メンバーは、どうするのか

事務局 半分の方は、残っている。今後、部会には、先生方も参加していただいて、期日を調整し進めていきたい。

委員長 いかがですか。そういうことでご理解をいただきたい。以上で、全体を含めてご意見をいただきたい。

次回は、新年度になってからということでご理解していただきたい。

以上で、議事を終了する。